



松山共闘部長の投稿文が、 9条連ニュースに掲載！

9条連ニュースNo.327（5月20日発行）「あーていくる ないん」に、本部松山共闘部長の投稿文が掲載されました。

日本が戦後長く続けてきた「専守防衛」でしたが、ウクライナ情勢の悪化の中、自民党はこれまで主張してきた「敵基地攻撃能力」を改め、「反撃能力」を提言しています。さらに、その脅威として中国、朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、そしてロシアを名指ししています。

この提言では、反撃の対象範囲は、ミサイル基地に限定されるものではなく、指揮統制機能等も含むとしており、攻撃対象が拡大する可能性も指摘されています。さらに提言では、海外への武器移転の緩和にも言及しています。憲法9条下の専守防衛とは矛盾する事となり、憲法改正への動きがより加速すると考えられます。

これまでのロシア、ウクライナ間のNATOとの関係性を考えれば、他国からすれば脅威とも見られ、戦争への引き金になりかねません。防衛費増額も提言に含まれており、増税も十分考えられ、私たちの生活も脅かされます。

このような権力者たちのデタラメな目論みを阻止すべく、私たちが戦争反対の声をより強くあげて、理解者を増やしていきましょう。